

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 1 運動	電気を使ってモーターや洗濯機 ^{せんたくき} を動かすとき、電気は「運動」に変わって利用されています。
問2	答え 3 流れる電流の向きが逆になる。	時計回りと反時計回りは逆の向きなので、ハンドルを回す向きが変わることで、流れる電流の向きが逆になります。
問3	答え 2 より強くなる	光電池は、当てる光を強くすると、より強い電気がつくられます。
問4	答え 4 ハンドルを回す速さ	手回し発電機では、ハンドルを回す速さによって、流れる電流の大きさが変わります。
問5	答え 4 発電機	風や水、水蒸気のでタービン（羽根車）を回し、発電機を動かすことで電気をつくっています。
問6	答え 2 光	光電池は、光を当てることで電気をつくり出すことができる仕組みになっています。
問7	答え 1 コンデンサー	電気をためたり、送り出したりできる装置はコンデンサー（ちく電器）です。
問8	答え 3 熱	アイロンやホットプレートは、電気を熱に変えることで、ものを温めたり温め直したりして利用する道具です。
問9	答え 4 より強い電気がつくられる	手回し発電機は、ハンドルを速く回すほど、より強い電気がつくられます。
問10	答え 2 電熱線	電気を熱 ^{へんかん} に変換して利用する器具を電熱線といいます。発光ダイオードは光、モーターは動き ^{へんかん} に変換する器具です。
問11	答え 3 モーター	電気を動き（運動） ^{へんかん} に変換して利用する器具をモーターといいます。
問12	答え 1 光	電気を使って豆電球や部屋の明かりをつけるとき、電気は光に変わって利用されています。
問13	答え 3 流れる電気の向きが逆になる	手回し発電機のハンドルを逆向きに回すと、流れる電気の向きが逆になります。
問14	答え 1 電気をむだなく光に変えているから	発光ダイオードは、電気をむだなく光に変えることができるため、熱をほとんど出しません。
問15	答え 4 発電	電気をつくることを「発電」といいます。小学校の理科では、手回し発電機などを使って電気をつくれます。